

凸版印刷と AVITA、資本業務提携

アバター技術で実世界を仮想化することで
「誰もが自由に活動できる社会」を創る

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)と、アバター技術やロボット技術を活用したサービスの開発を行う、大阪大学発のベンチャー企業 AVITA 株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:石黒 浩、以下 AVITA)と、2021年7月に資本業務提携契約を締結しました。これにより、両社の持つテクノロジーを活用した、デジタルツイン推進に向けた製品/サービスの共同開発を開始します。



■ 背景

昨今、人手不足や新型コロナウイルス感染拡大により、音声認識を活用した自動案内端末やオンライン接客のニーズが高まりを見せています。このような中で、凸版印刷の提供する多言語 AI サイネージ「BotFriends® Vision」や、バーチャル空間上でショッピングを可能にする「IoA Shopping™」をはじめとしたサービスと、AVITA の持つ話者の意図推定に基づく対話戦略技術や人と関わるアバター技術を連携。次世代のアバターシステムを実現していきます。

これにより、両社の推進するアバターの浸透とそれによる社会課題の解決に貢献します。

■ 提携内容について

① 多言語 AI サイネージ「BotFriends® Vision」、デジタルツイン事業構想の高度化

音声操作が可能な多言語 AI サイネージ「BotFriends® Vision」や、アバター(ロボットやバーチャル)を使って、リアル空間とバーチャル空間を行き来する新しいコミュニケーション・体験を提供するデジタルツイン事業構想において、ショッピング、ワーキング、イベント、観光、教育などの幅広い領域に、AVITA が持つ対話に関する技術や、表情豊かな CG アバターを実装。現状のチャットボット式対話から、自然言語処理による自律対話を実現させ UX/UI 向上を図ります。

② アバター接客で取得したデータの利活用

店頭無人接客端末を使用した際の対話/操作データを、マーケティング分析や販売スキルの伝承/教育に活用。これにより無人接客をアップデートし、さらなる高度化を図ります。

■ 今後の目標

今後、凸版印刷のデジタルツイン領域の事業や「BotFriends[®] Vision」に、AVITA のもつ対話戦略技術や、CG アバターを実装させていきます。さらに凸版印刷と AVITA は、両社が保有する技術・ノウハウを融合させ、都市空間や商業施設などにおけるデジタルツインの実現に資する、円滑なコミュニケーションを支援する新たなサービスを開発していきます。

■ AVITA 株式会社について

大阪大学大学院基礎工学研究科教授の石黒浩がプロジェクトマネージャーを務める「ムーンショット型研究開発制度」や、テーマ事業プロデューサーを務める「2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」などの様々なプロジェクト、および企業との連携によって新たに生み出す研究成果を、社会に実装するため設立された会社です。

社名	AVITA 株式会社(AVITA,Inc.)
代表者	代表取締役 CEO 石黒 浩
設立年月日	2021 年 6 月 1 日
事業内容	アバターサービス事業、アバタープロデュース事業
公式サイト	https://avita.co.jp

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上